

# 矢作川流域圏懇談会

## 市民部会の令和4年度の活動成果と今年度の活動目標

日時：令和5年5月22日（月）



矢作川流域圏懇談会のゆるキャラ  
「はぎぼう」

### 市民部会

新たな公開講座開催の検討  
農業を切り口に、「みどりの食料  
システム戦略」や「冬水田んぼ」の  
勉強会を開催し、流域の  
課題について検討。



### 山部会

根羽村、恵那市、豊田市、  
岡崎市、幸田町にてワーキングと  
フィールドワークを開催し、流域  
の山が抱える課題について、  
解決策を検討を実施



### 川部会

海部会合同で鵜の首掘削箇所・  
ヨシ原再生箇所等を見学し、生き  
物の棲みやすい環境について  
検討。流域の関係団体、  
生態系ネットワーク等  
との関係性を  
模索



### 海部会

公開講座「豊かな海の栄養源」  
を全国に発信するとともに、川部会  
合同で、干潟造成箇所等を見学  
海が抱える課題について、  
解決策の検討を実施



# 1.令和4年度の活動目標と活動成果 市民部会の活動成果

## 令和4年度の当初目標

- 流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。
- 地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- 農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

## 市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

**山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる**  
**～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～**

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。

# 1.令和4年度の活動目標と活動成果 市民部会の活動成果

市民部会の活動として、WGを3回、まとめの会を1回実施した。

活動（参加者数）	日 時	場 所
第12回WG (15名)	5月19日（木） 13:00-15:30	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室
第13回WG (14名)	6月21日（火） 14:00-16:00	・豊田市崇化館交流館3階 第2研修室
第14回WG (16名)	7月20日（水） 13:30-15:40	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室
第4回市民部会 まとめの会（18名）	1月27日（水） 14:00～16:30	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室

※参加人数はオンライン参加者、事務局含む

# 1. 令和4年度の活動目標と活動成果

## 市民部会の活動成果

### 令和4年度の活動目標に対する進捗状況

＜令和4年度に活動目標①：流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。＞

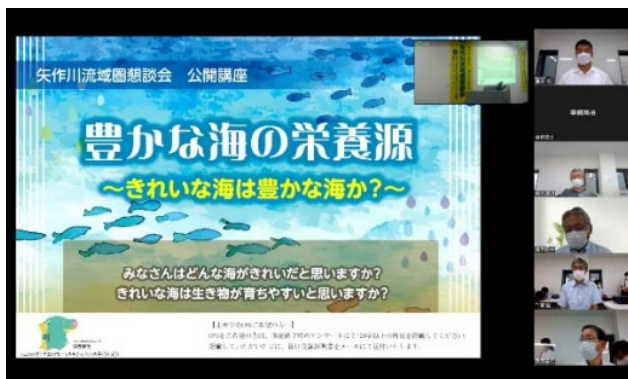
○ 流域全体に関わる課題について、下記のテーマが挙げられた。

テーマ	実施状況
「47災害から50年」	市民部会から提案→山部会で情報共有を実施
「三河湾の水産資源」 「栄養循環・物質循環」	市民部会から提案→海部会で公開講座を開催
農業と環境	市民部会で勉強会を企画・開催
上下水の市民科学	
マイクロプラスチック第2弾	実施について検討中
ネオニコチノイド系農薬第2弾	



第12回市民部会 話し合いのようす

○ 上記テーマのうち、「三河湾の水産資源」や「栄養循環・物質循環」にかかわるテーマについては、過去に海部会で議論がなされており、海部会でも情報発信をしたいという意見が出ていたことから、「豊かな海の栄養源」をテーマとして海部会主催の公開講座を開催するよう提案を行った。市民部会では、昨年度に2つの公開講座を実施しているため、公開講座の進め方や留意点等について、海部会関係者に共有した。



「豊かな海の栄養源～きれいな海は豊かな海か?～」

開催時期：8月20日（土）15：00～17：00

講師：京都大学名誉教授 藤原 建紀 氏

参加者：140名

YouTube再生数：160回再生（2月6日時点）

公開講座の様子（左：オンライン配信 右：会議室）

# 1. 令和4年度の活動目標と活動成果 市民部会の活動成果

## 令和4年度の活動目標に対する進捗状況

### <令和4年度に活動目標①：流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。>

- 昨年度開催した2つの公開講座と現在の懇談会の課題等をふまえ、矢作川流域圏において重要な生業である「農業」に着目した。
- 「農業」に関する公開講座開催のためには、まずは市民部会員内での認識の共有が必要であるとされた。
- 令和4年度は、「農業」についての勉強会を市民部会で実施し、認識の共有をはかった。主に、「みどりの食料システム」と「冬水田んぼ」を話題としてとりあげ、「農業」に関する勉強会を行った。



第14回市民部会 内部勉強会「みどりの食料システムについて」



市民部会まとめの会 「冬水田んぼについて」

# 1. 令和4年度の活動目標と活動成果

# 市民部会の活動成果

## 令和4年度の活動目標に対する進捗状況

### <令和4年度に活動目標②：地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。>

- 昨年度の計画を踏襲し、再度日程調整を行うとともに、地域部会において内容の再検討を行った。令和5年度、新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、再度設定・実施する。

【名称】山から海まで2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー

【計画日】9月2日(金)・9月9日(金)の2日間、各々日帰りとして計画

【想定参加人数】50人程度

⇒新型コロナウイルス感染防止のため、再度延期とした

1日目 9/2(金)

時刻	場所	詳細	関係部会
8:45集合	愛知環状鉄道新豊田駅	産業文化センター側	
9:00出発	西口 ロータリー		
	↓	移動(60分)	
10:00到着	水源涵養モニタリング調査サイト	水源涵養モニタリング調査サイトの成果報告(60分) 解説者: 蔵治光一郎様	山部会
11:00出発	(豊田市大洞町)	(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)	
	↓	移動(60分)	
12:00到着	奥矢作レクリエーションセンター	昼食・休憩(40分) (弁当を注文予定・昼食は奥矢作レクリエーションセンター) 奥矢作移住定住促進協議会の活動報告(40分) 解説者: 大島光利様	山部会
	(恵那市串原)	(奥矢作移住定住促進協議会 会長)	
13:20出発			
	↓	矢作ダムを見ながら マイクロバスで移動(60分)	川部会
14:00到着	阿摺ダム	阿摺水力発電所の紹介(45分) 解説者: 北井和人様	川部会
14:45出発	(豊田市富田町)	(中部電力(株)愛知水力センター 副長)	
	↓	移動(15分)	
15:00到着	阿摺ダム下流部	天然アユの生態調査の成果報告(60分) 解説者: 山本敏哉様	川部会
16:00出発	(豊田市富田町)	(合同会社TSJネイチャー)	
	↓	移動(30分)	
16:30到着	愛知環状鉄道新豊田駅		
16:35解散	西口 ロータリー		

2日目 9/9(金)

時刻	場所	詳細	関係部会
8:45集合	愛知環状鉄道新豊田駅	産業文化センター側	
9:00出発	西口 ロータリー		
	↓	移動(10分)	
9:10到着	アユのための再生事業	アユのための再生事業について(30分)	川部会
9:40出発	(豊田市千石町)	解説: 矢作川漁業協同組合	
	↓	移動(15分)	
9:55到着	鵜の首狭窄部周辺	鵜の首地区水位低下対策の事業説明(30分)	川部会
10:25出発	(豊田市秋葉町・野見町)	解説: 国土交通省豊橋河川事務所	
	↓	移動(20分)	
10:45到着	家下川	家下川でのこれまでの取り組みについて(45分)	川部会
11:30出発	(豊田市榎塚東町)	解説者: 鶴田博嗣様 (豊田市郷土資料館 学芸員/家下川リバーパーク)	
	↓	移動(60分)、昼食・休憩(40分) (道の駅にしお岡の山)	
13:10到着	矢作川浄化センター	矢作川流域下水道の概要について(60分)	海部会
14:10出発	(西尾市港町)	解説: 青山純一様 (西三河建設事務所 都市施設整備課 課長補佐) 浦原聡様 (愛知県水産試験場 場長)	
	↓	移動(30分)	
14:40到着	東幡豆漁協	三河湾のアサリ等の漁業量の現状について(60分)	海部会
15:40出発	(西尾市東幡豆町)	解説者: 石川金男様 (東幡豆漁業協同組合 組合長)	
	↓	移動(20分)	
16:10到着	名鉄西尾駅東口		
16:15出発			
	↓	移動(60分)	
17:15到着	名鉄西尾線西尾駅東口、		
17:20解散	愛知環状鉄道新豊田駅		
	西口 ロータリー		

# 1. 令和4年度の活動目標と活動成果

## 市民部会の活動成果

### 令和4年度の活動目標に対する進捗状況

**<令和4年度に検討した目標③：農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。>**

○ 市民部会員を中心に、農業従事者や大学関係者新たなつながりを広げた。

	組織		内容など
農業関係	東海農政局		井上氏が訪問・挨拶を兼ねて懇談会の課題を共有した
	エコネットあんじょう		農業関係の団体として、市民部会に招待し、意見交換した
大学関係	四日市大学	千葉先生 学生2名	近藤氏のご協力のもと、マイクロプラスチックや流木の問題について、話題提供いただいた
	人間環境大学	谷地先生 江口先生	三ツ松氏と高橋氏が訪問し、新たなつながりを広げた
	京都大学	藤原先生	海部会が主体となり、公開講座の講師として招待した
	信州大学	学生3名	山部会の根羽村が主体となり、学生を招待、情報を発信した
その他	奈佐の浜プロジェクト		流域連携イベント等をきっかけに、課題点等について共有した
	西三河南部生態系ネットワーク協議会		川部会が主体となり、WGに招待した
	多摩川流域懇談会		流域連携イベントをきっかけに、意見交換を実施した



第65回山部会FW



根羽村に学生を招待



多摩川流域懇談会との意見交換会

# 1.令和4年度の活動目標と活動成果 市民部会の活動成果

流域連携イベントに関する成果として、下記4つのイベントに参加した。

イベント	日 時	場 所
第14回“いい川”・“いい川づくり” ワークショップ	9月2日（金）	エクスカージョン：新河岸川流域（荒川）
	9月3日（土）～4日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター
2022年矢作川感謝祭	9月8日（日）	千石公園（豊田大橋下）
第9回三河湾大感謝祭	10月9日（日）	一色さかな広場 特設会場
中部のいい川WS	11月12日（土）	長野県上伊那郡宮田村 村民会館
	11月13日（日）	エクスカージョン：天竜川流域



# 1. 令和4年度の活動目標と活動成果 市民部会の活動成果

## ① 第14回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ

- 「矢作川流域圏懇談会 “流域はひとつ、運命共同体”」と題し、矢作川流域圏懇談会の概要説明とこれまでの活動内容、各地域部会の課題や目指す姿などについて、発表した。



**矢作川流域圏懇談会**  
“流域はひとつ、運命共同体”

**矢作川流域圏懇談会とは**  
「矢作川流域圏懇談会」は、河川管理者が河川整備計画の枠組みだけでは解決できない課題に対して、市民、学識者、行政と様々な組織や機関が連携・協働し、流域圏全体の発展につなげることを目指し、平成22年度9月に設立されました。  
本懇談会は、「市民部会」・「地域部会（山・川・海）」で構成され、それぞれの部会が設定した課題について、その解決方法を探るために話し合いや現地視察などの活動を行っています。  
また、令和3年度には、懇談会活動を活性化させる目的で新たに「部会連携調整（ミライ会議）」を設置しました。現在は、各部会の進捗状況の共有や、継続して活動していくための企画を検討しています。

**市民部会の課題**

- ・矢作川の望ましいイメージの可視化
- ・市民視点による流域連携テーマの議論
- ・地域部会の課題・課題を把握できるシステムの構築
- ・10年間で新たに増えてきた課題や問題の明確化
- ・今までつながらなかった農業・工業の団体との関係構築

**山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる**  
～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

**懇談会の最近の活動と目指す姿**

新型コロナウイルスを逆手に取った取り組み  
・オンライン公開講座の開催  
令和4年度は、本懇談会で流域圏全体の課題となった「マイケロプラスチック」および「ネオエコノイド産業」が及ぼす環境への影響について、ZOOMによる公開講座を開催しました。  
今年度の8月には、「海の栄養塩不足」に関する公開講座を開催しました。

**地域部会（山・川・海）の課題**

**山部会**

- ・人と山村の課題
- ・山村における若者の就業機会の少なさ、定着率の低さ、過疎化・高齢化の進行
- ・森林の課題
- ・管理不足で過密化した水消費型森林や放牧人工林からの土砂流出・崩壊の危険性の増加

**川部会**

- ・上下流問題
- ・多様な物理環境と生物多様性の創出、土砂供給不足の問題
- ・地先の課題（地域の人々と川との関係）
- ・河川空間の利用・保全のあり方

**海部会**

- ・海の生き物をとりまく課題
- ・ごみの問題、豊かな海の再生、栄養塩不足の問題
- ・海人の課題
- ・海と人の絆再生、干潟・ヨシ原再生

矢作川流域の山から海まで、流域圏の課題解決に向け、豊かな矢作川流域を維持していきます。

川の名称	矢作川（矢作川水系）	矢作川流域圏懇談会
所在地	愛知県・岐阜県・長野県	“流域はひとつ、運命共同体”
応募者名（ふりがな）	関 聡介（はし ごうすけ）	
所属団体名	矢作川流域圏懇談会	

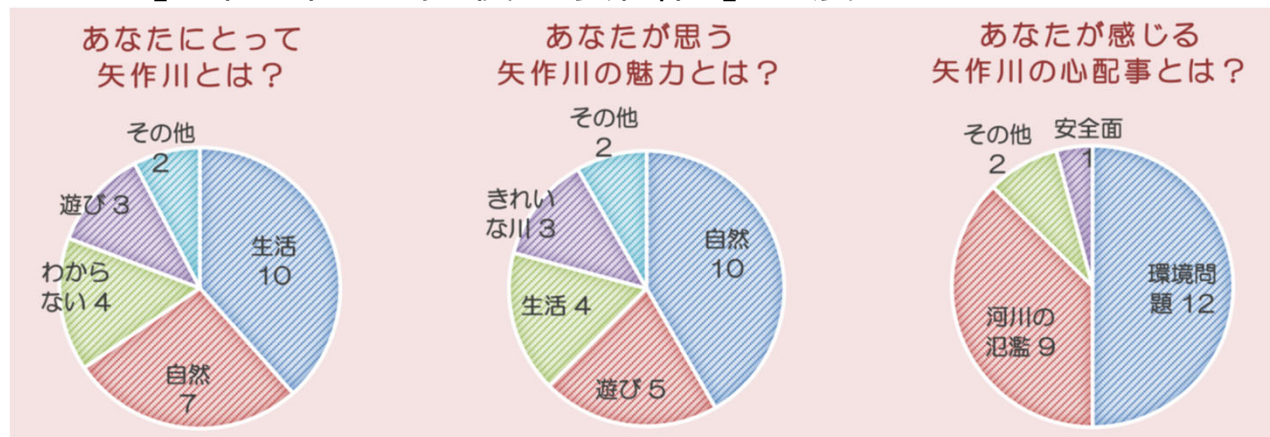
## ② 2022年矢作川感謝祭

- メインステージにて矢作川流域圏懇談会の活動紹介を行い、活動内容や意義を参加した人たちに知ってもらった。また、「矢作川に関する意見募集」を行い、会場の皆さんから矢作川に対する様々な思いを伺った。



### ③ 第9回三河湾大感謝祭

- 矢作川の情報発信を目的としたクイズの出題と、矢作川に関するアンケート、魚のペーパークラフトの配布を行った。また、根羽村森林組合による「木でできた弓矢の的当て」と「根羽村のスギを使った表札作り」を出展した。



### ④ 中部のいい川WS

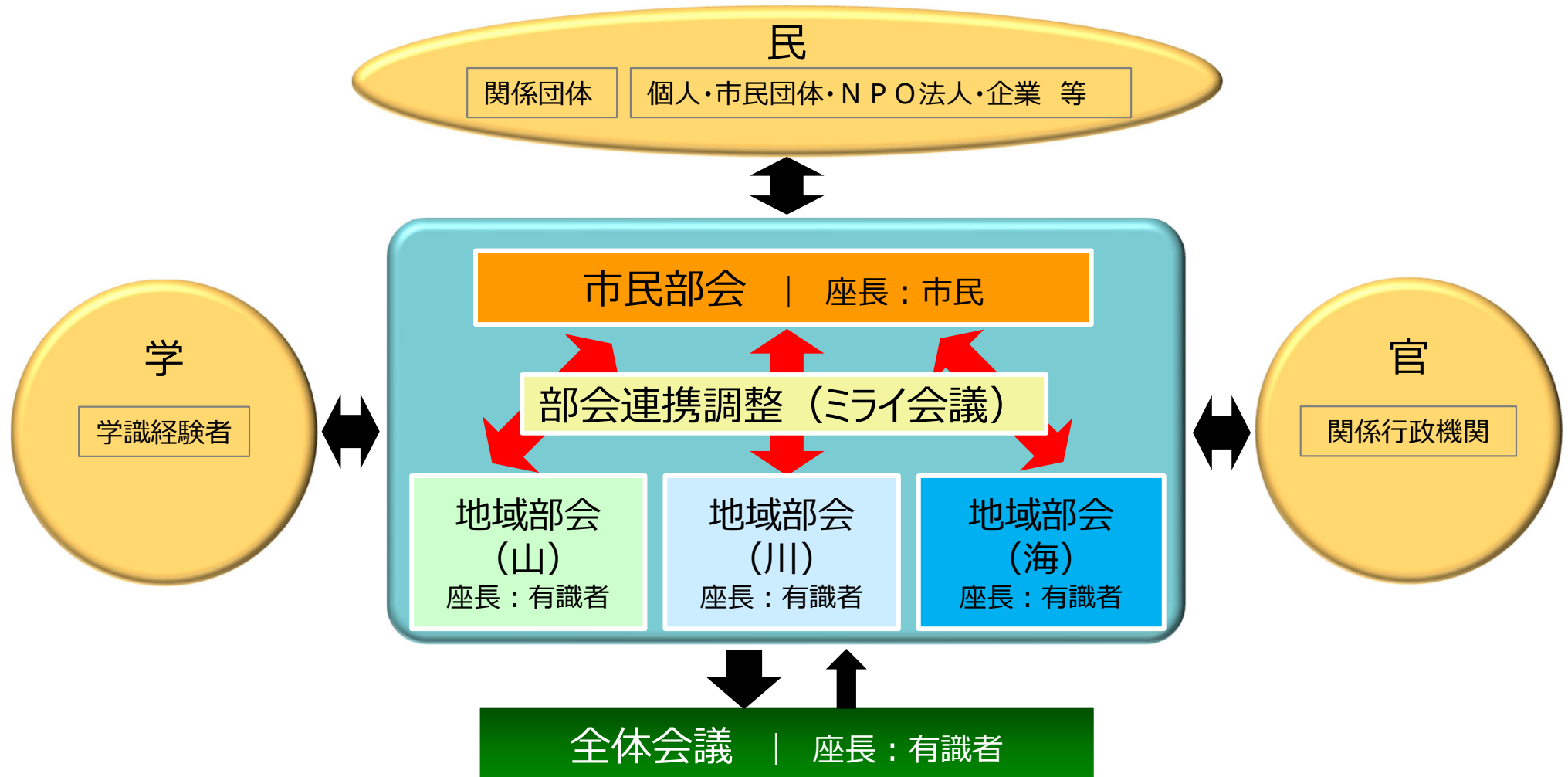
- 今回が初となる本ワークショップでは、各団体の課題などについて、発表をとおして情報共有を行い、パネルトーク、エクスカージョンへ参加した。



## 2.令和5年度の体制及び活動目標 今後の体制

### ■ 体制図

- 市民が主体となる市民部会（※合同部会の座長：市民）と地域部会（座長：有識者）を設置して、流域連携テーマや流域のイベントを話し合う場とする。
- 地域部会のWG・フィールドワーク等は必要に応じて開催するものとし、市民部会発の勉強会を行う。



## 2.令和5年度の体制及び活動目標 スケジュール

### ■ スケジュール案

- 市民部会は、WG、まとめの会を実施するとともに、バスツアーや公開講座の実施を検討する。
- 勉強会と流域連携イベントの実施に関する意見は、市民部会が発信し、各地域部会を横断的につなぐ役割を担う。
- 地域部会WGは、山、川、海で開催する。フィールドワークは随時実施する。また、総括として全体会議に向けた「まとめの会」を実施する。
- 部会連携調整（通称：ミライ会議）を開催する。今後の流域圏の在り方等を検討、支援する。
- 中間報告会を令和5年11月に予定し、さらに全体会議を令和6年11月に行い、約一年半の成果と今後の課題を話し合う場とする。
- 流域連携に関するイベントに参加する。以下、想定されるイベント。  
①矢作川感謝祭 ②“いい川”・“いい川づくり”WS ③三河湾大感謝祭

体制・イベント		月																			
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
市民部会	WG 勉強会	←-----→																			
	まとめの会																			●	
地域部会	WG フィールドワーク	←-----→																			
	まとめの会																			●	
全体会議	話し合いの会									★											★
部会連携調整	ミライ会議	←-----→																			
流域連携に関するイベント					①	②	③												①	②	③

## 2.令和5年度の体制及び活動目標 市民部会の活動目標

### 令和5年度の活動目標（案）

- 流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。
- 地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- 農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

### 今後の市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに増えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

**山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる**

**～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～**

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。